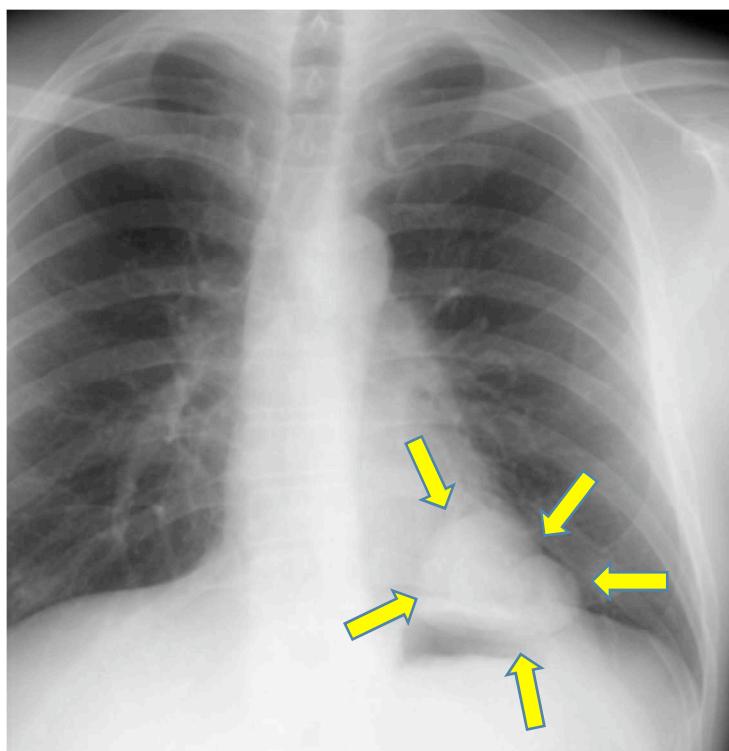
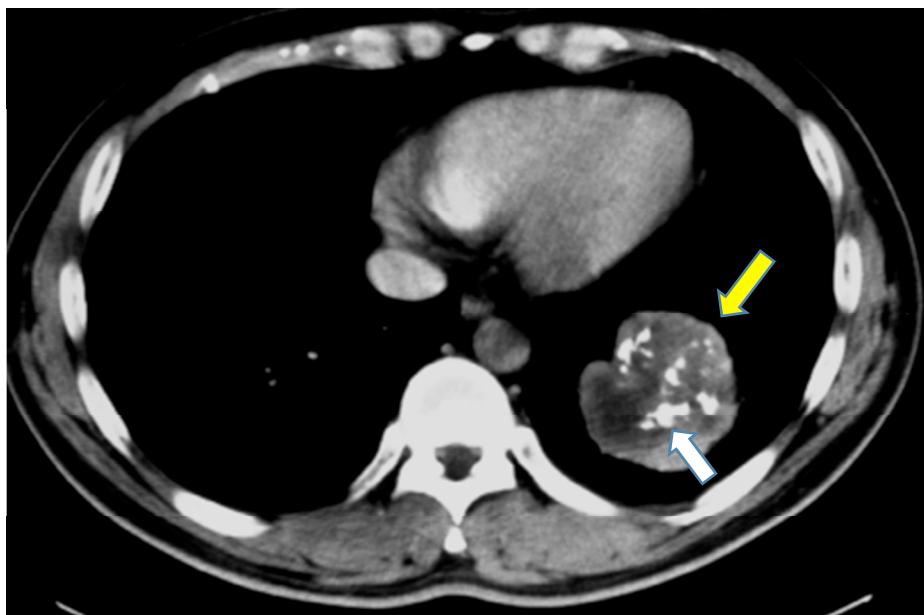


肺がんとよく似たがんでない疾患

1. 良性腫瘍

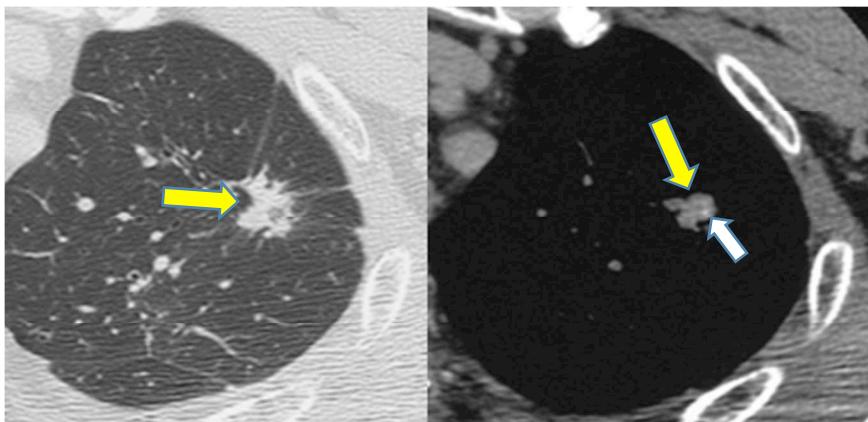


心臓に重なって大きな腫瘍が見られる（矢印）。7cm 程の大きさの腫瘍です。この症例は過誤腫（ハマルトーマ）でした。



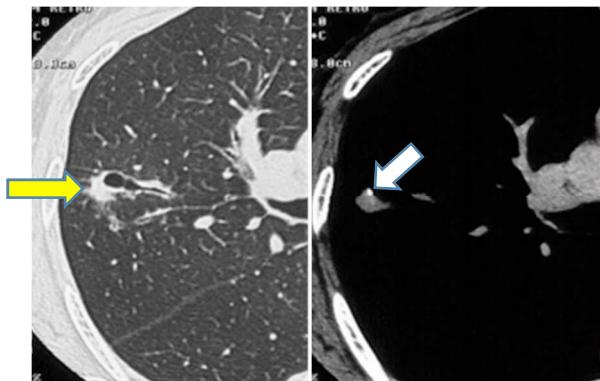
CT では腫瘍内に脂肪成分、軟骨や石灰化（白色矢印）が見られることから診断されます。

2. 結核腫



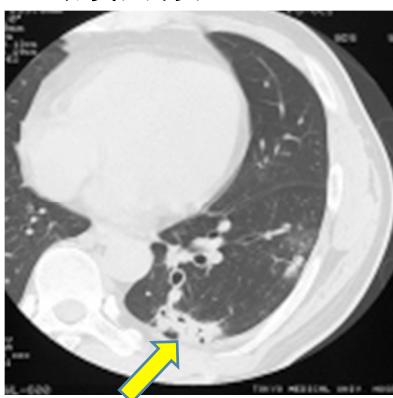
一見、肺がん（腺がん）を疑いますが、がんではなく、結核による肉芽が固まってきたものです。石灰化（白色矢印）が特徴ですが、肺がんとの鑑別診断のために詳しく検査をし、確定診断をする必要があります。

3. 結核腫



肺がんと紛らわしい陰影（矢印）です。陰影の中に石灰化（白色矢印）が見られます。肺がんとの鑑別診断をする必要があります。

4. 器質性肺炎

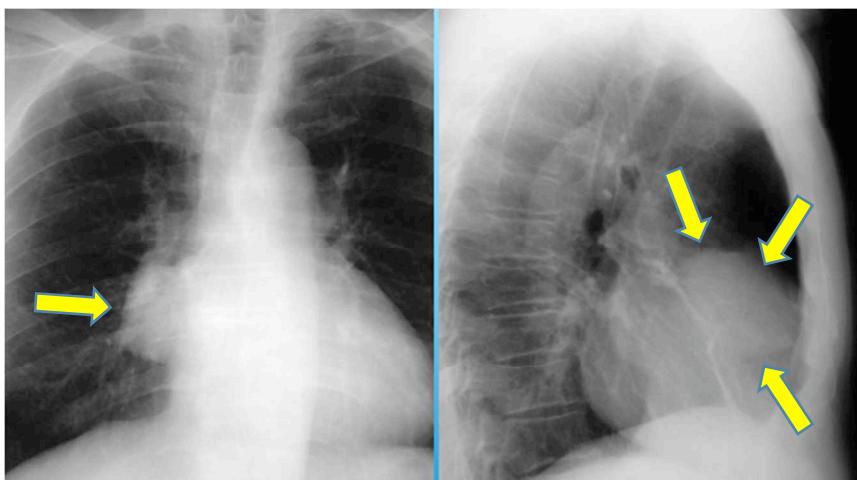


左下葉の気質化肺炎（矢印）。肺がん、結核、気管支拡張症などと鑑別診断をする必要があります。

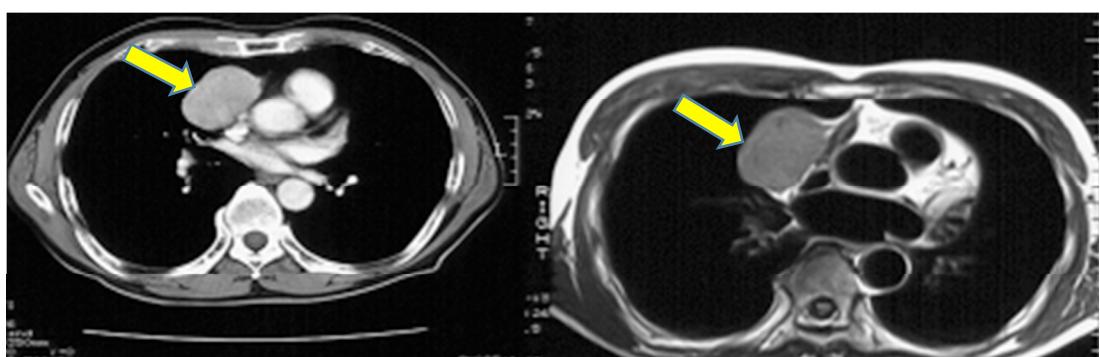
縦隔腫瘍

縦隔腫瘍とは縦隔内に発生した腫瘍を指します。縦隔とは両肺の間に存在する場所で、心臓、大血管、気管、食道、胸腺、リンパ節、神経節などがあります。

1. 胸腺腫（非浸潤性）

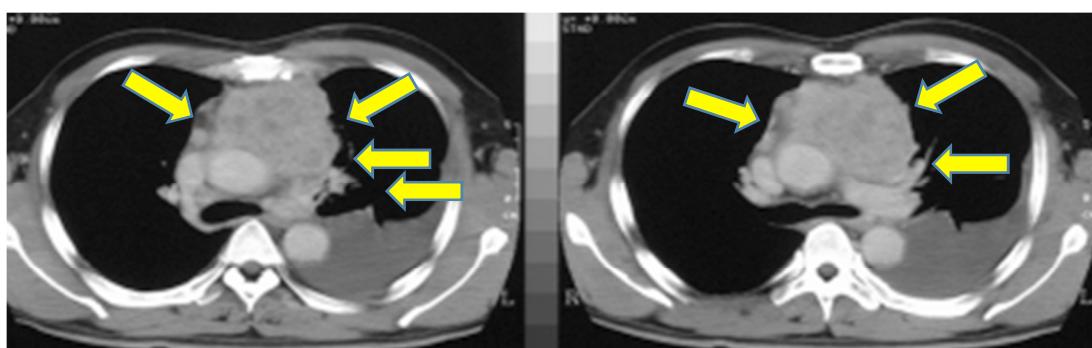


胸部レントゲンでは、矢印のように見えます。肺がんなどとの鑑別診断が必要です。



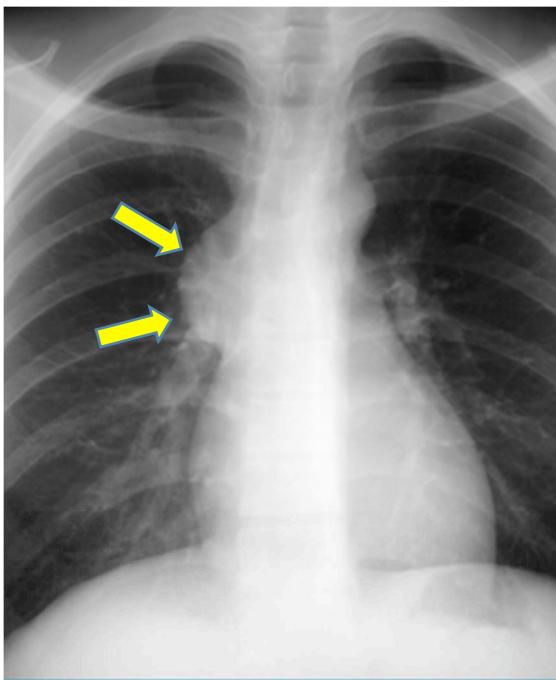
CTでは心臓に接したところに腫瘍陰影（矢印）があります。手術による摘出で治癒します。

2. 胸腺がん

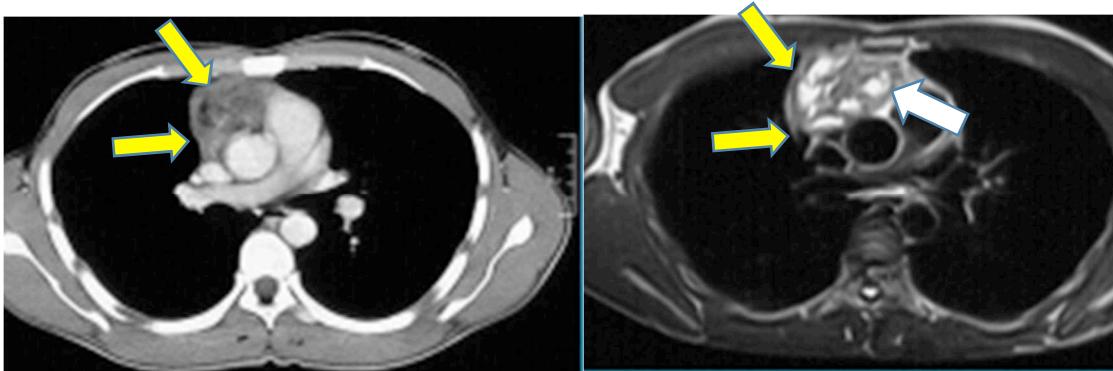


CTでは巨大な腫瘍として前縦隔に見られます。

3. 奇形腫

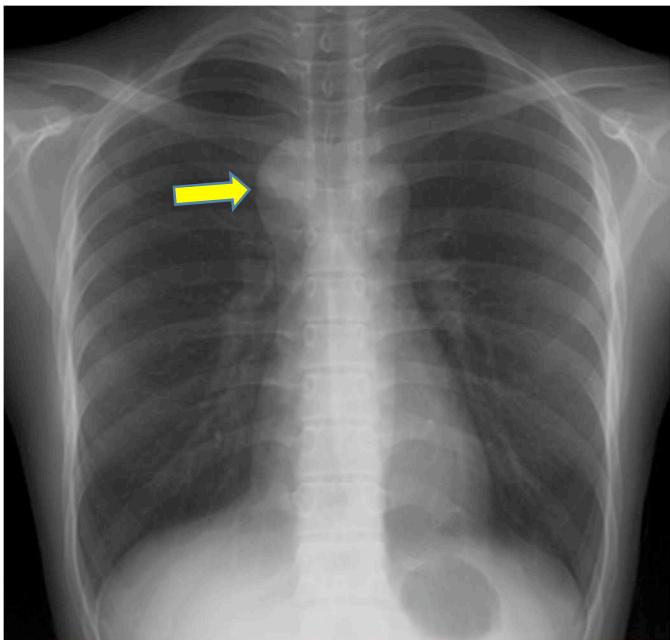


奇形腫は写真（矢印）のように前縦隔や上縦隔に発生します。肺がんなどと鑑別する必要がありますが、成熟奇形腫は表面が平滑です。手術によって治ります。

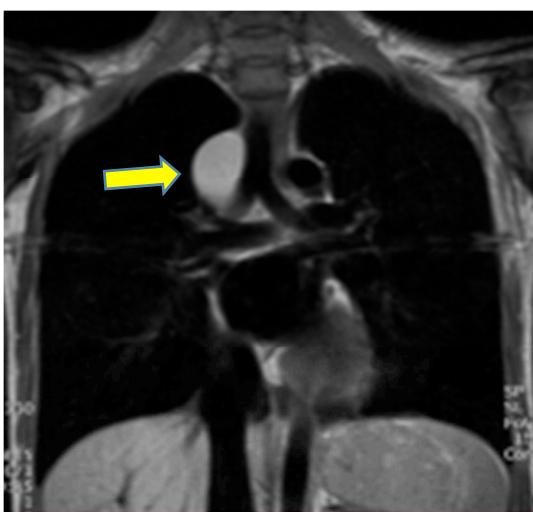
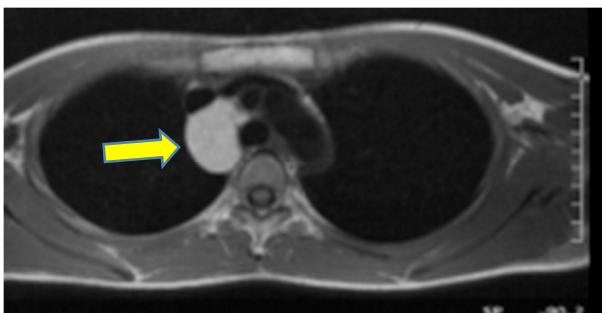


腫瘍組織内には皮膚、髪、歯、気管支などの組織が混じることが多いです。白色矢印は歯が写っています。

4. 気管支囊腫

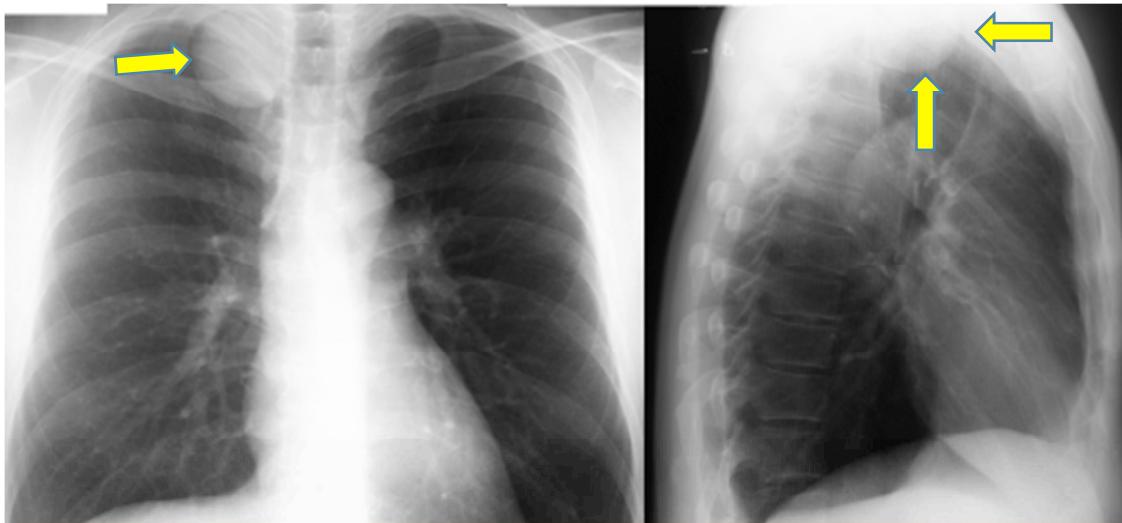


胸部レントゲン写真では右縦隔機間に接して 4cm 程度の腫瘍（矢印）が見られます。

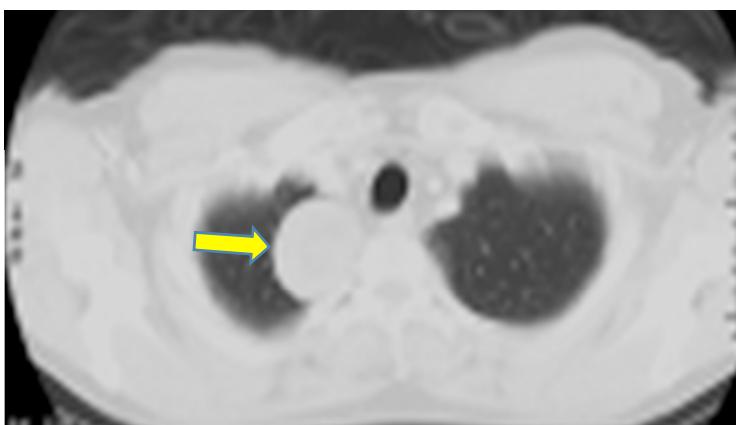


CT (coronal position) では円形な腫瘍が見られ、T2 画像では内容が液体（矢印）であることが分かります。気管支囊腫の特徴です。

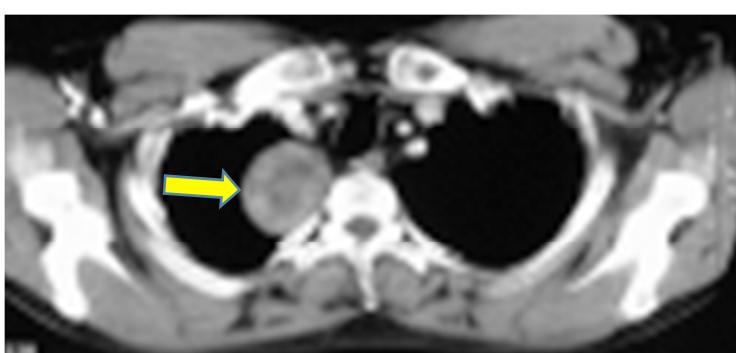
5. 神経鞘腫



右上縦隔に円形の腫瘍陰影（矢印）があります。



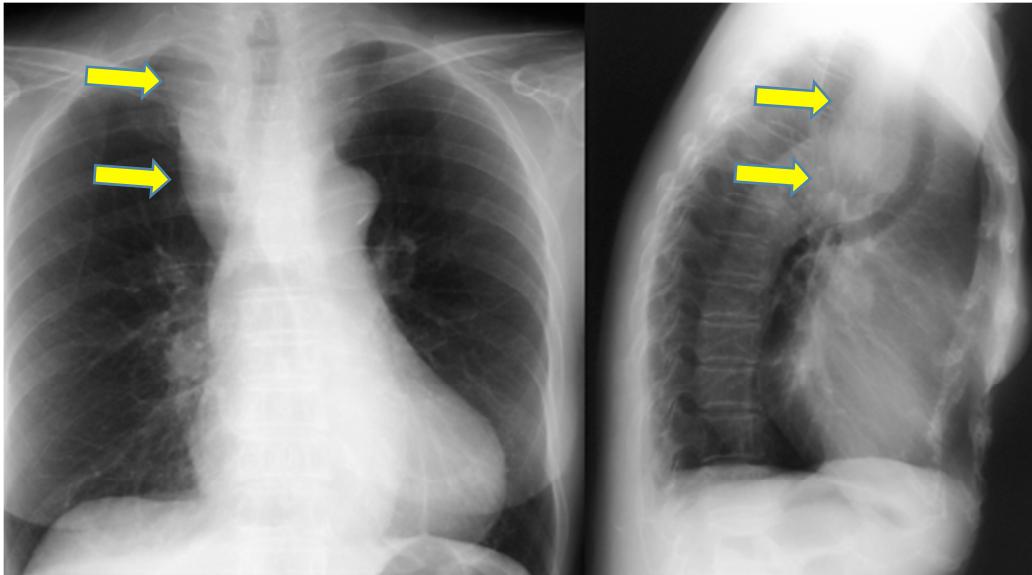
CTでは脊椎骨に接して3cm大の円形、表面平滑で周囲に浸潤のないことを示しています。



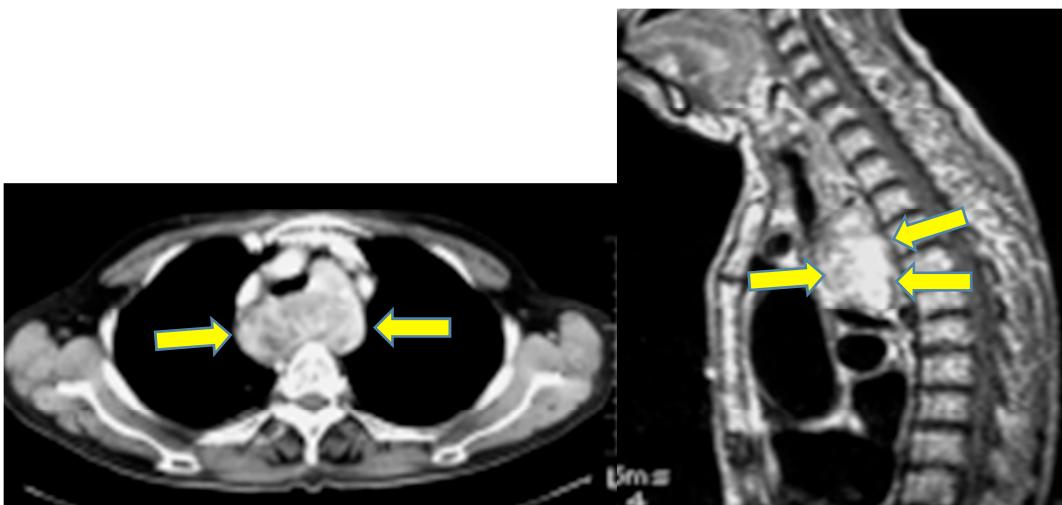
CT T2画像でも周囲に浸潤のないことが明瞭です。

良性腫瘍です。手術で治ります。

6. 胸腔内異所性甲状腺腫

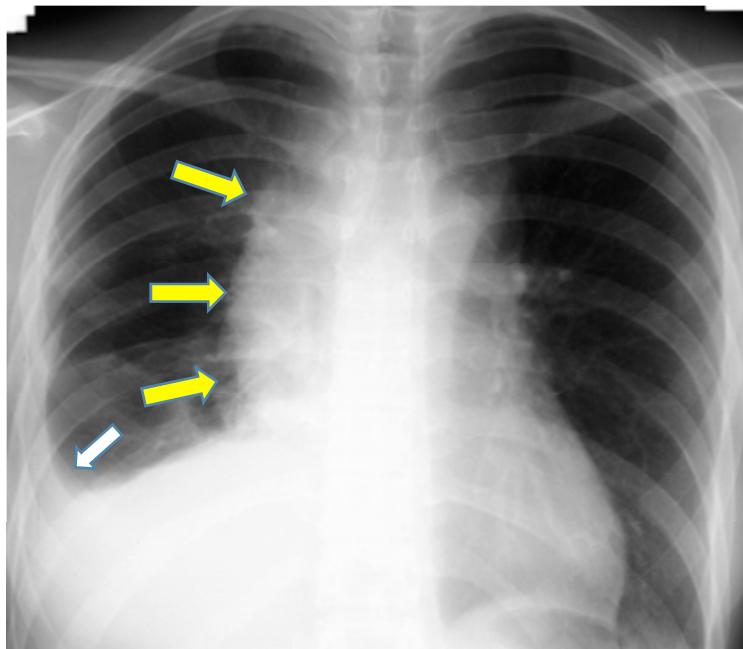


甲状腺は頸部に存在しますが、時に縦隔内に甲状腺腫が発生することがあります。胸腺に発生することもありますが、この病態を指します。矢印のところが腫瘍です。

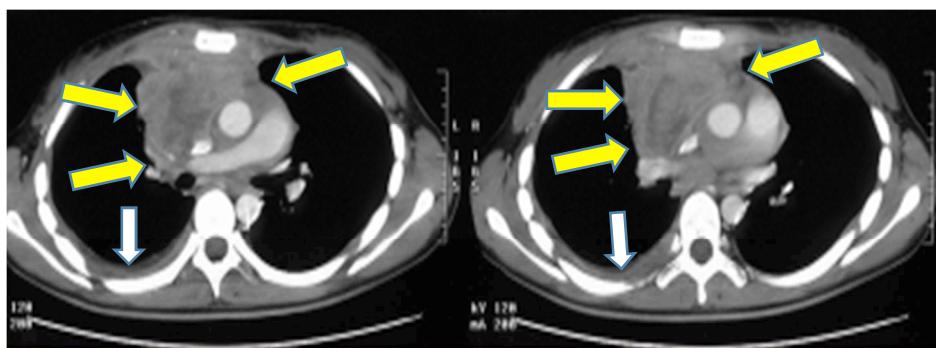


CT では気管の後方（矢印）に発生しています。

7. 悪性リンパ腫



この症例は縦隔のリンパ節に発生したものです。矢印のところが病巣です。胸水（白色矢印）も溜まっています。



前縦隔に広範囲にわたって腫瘍が広がっています（矢印）。胸腺がんとの鑑別が必要です。